

RO水の噴霧によるエアコン電気代の削減

逆浸透膜 (RO膜) によって処理した水を、空調室外機のフィンへ散水することで、フィンのスケール化を防ぐ

特徴

- エアコンの熱交換器の効率アップ
- RO水の散水により、熱交換器のスケール化を防止
- 投資回収期間が約2~3年の短期間



spray RO water



after one month; no scale on the fin

spray tap water



after one month; scale on the fin

概要

このシステムは、純水 (RO水) 製造のメインユニットと散水ノズルで構成されています。メインユニットで精製されたRO水は、ポンプアップされてノズルまで送られ、空調室外機のアルミニウムフィンの上に霧状に散水されます。フィンの上に散水された水は、蒸発気化熱によりフィンとその周辺の温度を約7°C下げる効果があります。その結果、室外機が約7°C低い状態で運転されているのと同じ状態になるため、室外機の電力負荷を下げることができます。また、散水量は、外気温によって最適な水量だけを噴霧するようにコントロールされており、蒸発気化熱を利用できる最小の散水量で最大の効果が得られる仕様になっています。稼働日についても、ユーザー様が任意で簡単に変更できるようになっています。

導入実績

- 国内での多数の導入実績あり
- タイ (Prachinburi、Ayutthayaなど): 実績あり



効果

- ピーク時の電力使用量約20%削減(平均8~10%)。
- CO2排出量削減(電力使用量削減換算)。

ダイセン・メンブレン・システムズ
株式会社
メンブレン営業部

<http://www.daicen.co.jp/>

E-mail tokyo@daicen.co.jp

所在地: 〒160-0022

東京都新宿区新宿1丁目34番15号 新宿エースタートビル

TEL 03-3354-5081 FAX 03-3354-5080